



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月14日

上場会社名 ジェイフロンティア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2934 URL https://jfrontier.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中村 篤弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 樋口 雄也 (TEL) 03-6427-4662
 経営企画本部長兼
 コーポレート本部長

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績(2025年6月1日~2026年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	16,381	0.2	777	18.7	304	50.8	351	99.9	84	△30.3
2025年5月期第3四半期	16,349	32.1	655	—	201	—	175	—	121	—

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 111百万円(△30.3%) 2025年5月期第3四半期 147百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	15.96	15.79
2025年5月期第3四半期	24.41	24.09

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+無形資産償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	10,386	2,327	16.2
2025年5月期	9,172	2,014	15.3

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 1,685百万円 2025年5月期 1,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想(2025年6月1日~2026年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	9.7	1,015	12.7	327	11.3	240	3.7	100	14.2	19.67

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+無形資産償却費

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社shake-hands 除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期3Q	5,333,465株	2025年5月期	5,220,195株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	47株	2025年5月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年5月期3Q	5,286,947株	2025年5月期3Q	4,962,954株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調がみられましたが、物価高騰や、米国の通商政策の動向、地政学リスクの長期化に加え、為替相場を含む金融資本市場の変動など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主たる事業領域である医療・健康産業においては、少子化による人口減少と団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達し、高齢者数がピークを迎えることにより直面する2040年問題を抱えております。具体的には、社会保障費の高騰や医療人材の枯渇などが挙げられます。加えて、新型コロナウイルス感染症の流行により、医療資源の拡充や柔軟な医療体制の必要性が再認識されました。このような背景のもと、令和4年度診療報酬改定によるオンラインでの初診料の引き上げやオンライン服薬指導の実施要件緩和など、医療体制のオンライン化の推進が図られ、社会保障費をはじめとする負担軽減や医療現場の効率性・生産性の改善、患者の利便性向上に向けた取り組みが加速しております。

以上の事業環境の中、当社グループは、「人と社会を健康に美しく」を経営理念に掲げ、事業を推進しております。未病・予防→疾病→未病・予防という人々の「ヘルスケアサイクル」において、「疾病期間」の短縮化・「未病・予防期間」の長期化を通じた、健康寿命の伸長による社会保障費の削減に貢献すべく、全ての「ヘルスケアサイクル」のアクションが「SOKUYAKU」で完結するような「SOKUYAKUヘルスケア経済圏」の創出及びサービスの拡充に取り組んでまいりました。

「疾病期間」の短縮化に向けては、オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配をワンストップで提供するプラットフォーム「SOKUYAKU」の運営を通じ、医療機関のデジタル・トランスフォーメーション(DX)化の推進や、ユーザー(患者)や医師・薬剤師の利便性向上に努めております。いつでも・どこでも・誰でも、医師・薬剤師と繋がり、薬が受け取れる社会の実現を目指し、2021年2月にサービスを開始した「SOKUYAKU」は、全国の医療機関・薬局との提携及び医薬品の配送網構築に成功し、ユーザーの登録・利用は順調に拡大しております。

「未病・予防期間」の長期化に向けては、人々の健康増進と生活の質の向上に貢献することを目指し、自社ブランド医薬品・健康食品・化粧品を展開するD2C事業(EC・通販事業)の推進に注力しております。

さらに、クライアント企業に向けた販促支援やBPO(Business Process Outsourcing)サービスを提供するB2B事業は、当社グループのSOKUYAKU事業やD2C事業に対する側面支援の機能として、間接的に「ヘルスケアサイクル」に関する提供価値の最大化に寄与しております。

今後も、人々の「ヘルスケアサイクル」に関連するサービスの強化を通じて、超高齢化社会を迎える日本の深刻な社会課題解決の一助となることで、当社グループの更なる拡大・成長に繋げていく考えです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,381,832千円(前年同四半期比0.2%増加)、EBITDA(注)は777,727千円(前年同四半期比18.7%増加)、営業利益は304,337千円(前年同四半期比50.8%増加)、経常利益は351,509千円(前年同四半期比99.9%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,392千円(前年同四半期比30.3%減少)となりました。

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+無形資産償却費

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	外部顧客への売上高(千円)			セグメントEBITDA(千円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
メディカルケアセールス事業	4,463,118	3,928,966	△12.0	393,162	421,398	7.2
ヘルスケアセールス事業	4,650,335	4,149,471	△10.8	365,925	402,387	10.0
ヘルスケアマーケティング事業	7,236,466	8,303,394	14.7	166,927	236,683	41.8
調整額	—	—	—	△270,710	△282,742	
合計	16,349,920	16,381,832	0.2	655,304	777,727	18.7

(メディカルケアセールス事業)

メディカルケアセールス事業においては、医薬品のD2C（EC・通販）と、オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品の宅配をワンストップで提供するプラットフォーム「SOKUYAKU」を展開しています。

医薬品のD2C（EC・通販）においては、当社主力商品である防風通聖散や防己黄耆湯錠SX等、生漢煎®シリーズの漢方（第2類医薬品）の販売が引き続き業績に寄与いたしました。加えて、上期に実施した新規の定期顧客獲得のための広告投資や既存顧客向けのCRM施策の改善を地道に継続いたしました。その結果、売上高は前年同期比で減少したものの、収益性が向上し、EBITDAは前年同期比で増加いたしました。

「SOKUYAKU」においては、前期に実施したシステム利用料の価格改定（ユーザーのシステム利用料の値上げ及び医療機関からのシステム利用料の徴収）により、利用単価が向上し、収益性の改善が進んでおります。また、風邪やインフルエンザ、花粉症などの症状における利用件数の積み上げが進展しております。さらに、法人顧客に対してSOKUYAKUベネフィットの導入が着実に進んでいることに加え、旅行会社が提供する修学旅行プランにSOKUYAKUが組み込まれるなど、B2B領域での新たな収益源も創出しました。

その結果、セグメント売上高は3,928,966千円（前年同四半期比12.0%減少）、セグメントEBITDAは421,398千円（前年同四半期比7.2%増加）となりました。

(ヘルスケアセールス事業)

ヘルスケアセールス事業においては、医薬品のD2C（EC・通販）と同様に、新規顧客及び既存顧客向けの各種施策の改善を地道に継続いたしました。

その結果、セグメント売上高は4,149,471千円（前年同四半期比10.8%減少）、セグメントEBITDAは402,387千円（前年同四半期比10.0%増加）となりました。

(ヘルスケアマーケティング事業)

ヘルスケアマーケティング事業においては、主にヘルスケア関連のD2C事業者に向けた著名人のキャスティング等によるブランディング支援、テレビショッピングの活用やECモールの販促支援などのマーケティング支援、ダイレクトメール（DM）マーケティング、物流業務などのBPO（Business Process Outsourcing）サービスが業績に貢献いたしました。

その結果、セグメント売上高は8,303,394千円（前年同四半期比14.7%増加）、セグメントEBITDAは236,683千円（前年同四半期比41.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ706,982千円増加し、6,361,609千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加278,647千円、売掛金の増加548,834千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ506,986千円増加し、4,025,140千円となりました。これは主に、有形固定資産の減少7,580千円、無形固定資産の増加401,986千円、投資その他の資産の増加112,580千円によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ626,685千円増加し、5,389,508千円となりました。これは主に、短期借入金の増加717,302千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ273,798千円増加し、2,669,481千円となりました。これは主に、長期借入金の増加360,905千円によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ313,485千円増加し、2,327,760千円となりました。これは主に、資本金の増加100,875千円、資本剰余金の増加100,875千円、親会社株主に帰属する四

半期純利益の計上による利益剰余金の増加84,392千円、非支配株主持分の増加32,928千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の通期業績予想につきましては、2025年7月15日に公表いたしました「2025年5月期 決算短信」をご覧ください。なお、上記の連結業績予測は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,169,645	2,448,293
売掛金	1,247,878	1,796,713
商品及び製品	1,620,575	1,555,628
原材料及び貯蔵品	125,344	126,932
仕掛品	91,024	111,082
前払費用	81,578	147,967
その他	326,087	186,350
貸倒引当金	△7,508	△11,359
流動資産合計	5,654,626	6,361,609
固定資産		
有形固定資産	159,996	152,415
無形固定資産		
のれん	1,690,303	2,310,104
顧客関連資産	1,079,183	865,513
その他	40,147	36,003
無形固定資産合計	2,809,634	3,211,620
投資その他の資産	548,523	661,103
固定資産合計	3,518,153	4,025,140
資産合計	9,172,780	10,386,749
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,112,434	1,128,511
短期借入金	1,291,566	2,008,869
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	1,055,872	1,194,142
未払金	753,669	456,139
未払費用	167,841	106,353
未払法人税等	117,814	190,415
未払消費税等	114,661	91,081
前受金	62,378	150,711
賞与引当金	15,871	13,052
ポイント引当金	12,863	2,950
その他	37,849	27,282
流動負債合計	4,762,822	5,389,508
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	1,895,050	2,255,955
資産除去債務	33,249	33,405
その他	407,383	330,120
固定負債合計	2,395,682	2,669,481
負債合計	7,158,505	8,058,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,406	665,281
資本剰余金	3,127,100	3,227,975
利益剰余金	△2,282,468	△2,198,075
自己株式	—	△85
株主資本合計	1,409,038	1,695,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,225	△9,548
その他の包括利益累計額合計	△4,225	△9,548
新株予約権	1,404	1,226
非支配株主持分	608,057	640,985
純資産合計	2,014,275	2,327,760
負債純資産合計	9,172,780	10,386,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	16,349,920	16,381,832
売上原価	8,954,585	9,664,173
売上総利益	7,395,334	6,717,659
販売費及び一般管理費	7,193,517	6,413,321
営業利益	201,816	304,337
営業外収益		
受取利息	4,382	5,113
受取配当金	4,184	6,070
投資有価証券売却益	12,777	106,317
受取補償金	—	54,891
その他	10,915	17,516
営業外収益合計	32,260	189,907
営業外費用		
支払利息	39,323	63,150
資金調達費用	13,997	27,116
貸倒引当金繰入額	562	1,991
その他	4,327	50,477
営業外費用合計	58,210	142,735
経常利益	175,866	351,509
特別利益		
固定資産売却益	—	669
関係会社株式売却益	5,725	—
受取保険金	10,000	—
新株予約権戻入益	—	135
その他	1,302	—
特別利益合計	17,028	805
特別損失		
固定資産売却損	—	143
減損損失	—	44,190
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	44,333
税金等調整前四半期純利益	192,895	307,981
法人税、住民税及び事業税	137,863	265,159
法人税等調整額	△92,911	△75,090
法人税等合計	44,952	190,069
四半期純利益	147,943	117,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,801	33,519
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,141	84,392

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	147,943	117,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△5,914
その他の包括利益合計	△55	△5,914
四半期包括利益	147,887	111,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,092	79,069
非支配株主に係る四半期包括利益	26,795	32,928

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年9月18日を払込期日とする第三者割当による新株の発行により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ100,000千円増加しております。

また、2025年11月6日を割当日とする新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ875千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末において資本金が665,281千円、資本剰余金が3,227,975千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディカルケア セールス事業	ヘルスケア セールス事業	ヘルスケアマー ケティング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,463,118	4,650,335	7,236,466	16,349,920	—	16,349,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,407	1,255	78,071	82,733	△82,733	—
計	4,466,525	4,651,590	7,314,538	16,432,654	△82,733	16,349,920
セグメント利益 又は損失 (△)	361,676	△10,338	121,461	472,799	△270,982	201,816

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△270,982千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2025年6月1日至2026年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルケア セールス事業	ヘルスケア セールス事業	ヘルスケアマー ケティング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,928,966	4,149,471	8,303,394	16,381,832	—	16,381,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,869	15,384	76,398	95,653	△95,653	—
計	3,932,835	4,164,856	8,379,793	16,477,485	△95,653	16,381,832
セグメント利益	388,075	69,191	130,032	587,299	△282,961	304,337

(注)1.セグメント利益の調整額△282,961千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失額の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社shake-handsの株式を取得し連結子会社といたしました。これに伴い、「ヘルスケアマーケティング事業」セグメントにおいてのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては792,283千円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年6月1日 至2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年6月1日 至2026年2月28日)
減価償却費	20,677千円	26,292千円
のれんの償却額	174,755千円	233,427千円
顧客関連資産償却額	258,055千円	213,669千円